

令和4年度 人口移動調査（アンケート）結果報告書

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象者	1
(3)	調査の方法	1
(4)	調査の期間	1
(5)	回答件数	1
(6)	留意事項	1
2	調査結果（転入者）	3
(1)	回答者の年齢	3
(2)	回答者の性別	3
(3)	回答者の丹波市転入後の家族構成	4
(4)	回答者の丹波市転入後の職業	4
(5)	回答者のお住まいの地域	5
(6)	丹波市転入前の居住地	6
(7)	丹波市転入前の居住地での居住期間	7
(8)	丹波市に転入したきっかけ	8
(9)	丹波市を転入先として選んだ理由	9
(10)	移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。	10
(11)	丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。	11
3	調査結果（転出者）	16
(1)	回答者の年齢	16
(2)	回答者の性別	16
(3)	回答者の丹波市在住時の家族構成	17
(4)	回答者の丹波市在住時の職業	17
(5)	回答者の丹波市でのお住まいの地域	18
(6)	丹波市転出後の居住地	19
(7)	丹波市での居住期間	20
(8)	丹波市から転出したきっかけ	21
(9)	現在の居住地を転出先として選んだ理由	22
(10)	移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。	23
(11)	これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたいと思いますか。	24

令和4年9月1日

丹波市ふるさと創造部ふるさと定住促進課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和3年度の転入出者を対象に、その属性や移動時の状況等を明らかにするとともに、前回実施した調査の結果と比較することで、その調査結果を移住施策等に役立てることを目的に、アンケート調査を実施したものである。

(2) 調査対象者

18歳～75歳（昭和22年4月2日から平成16年4月1日生まれ）で住民基本台帳に基づく転入又は転出の日付が令和3年度中となっているものから、無作為抽出によって転入者500人、転出者500人、合計1,000人を調査対象者とした。

調査対象者は、1世帯につき1人まで（世帯主か否かを問わない）とし、転入前に同一世帯に属していた者が転出後に別世帯に転出した場合はそれぞれの住所ごとに別世帯として取り扱うこととした。

なお、調査対象者1,000人のうち、調査案内を郵送したものの、宛先不明等の理由により郵便返送があったものが11人（転入者3人、転出者8人）あり、実際に調査案内を郵送することができた（返送がなかった）のは、転入者497人、転出者492人、合計989人となる。

(3) 調査の方法

調査対象者にアンケートの回答方法を記載した調査案内を郵送し、回答は市公式ホームページのアンケート機能を用いて、同一のパソコンから重複回答に一定の制限を設けたうえで、実施した。

(4) 調査の期間

令和4年7月27日（水）～令和4年8月9日（火） 14日間

(5) 回答件数

210件（989人中、回答率21.2%）。うち、転入103件（497人中、回答率20.7%）転出107件（492人中、回答率21.7%）。

(6) 留意事項

本文中の設問の選択肢及び自由記述について、文字数が多いものは簡略化している場合がある。また、各項目の構成比について端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある。

回答者が「その他」を選択した場合で、「その他」の内容についての記述から他の選択肢に合致すると判断できる場合は、「その他」ではなく当該選択肢

での回答としている場合がある。

【前回調査】

○調査対象者

昭和21年4月2日から平成15年4月1日生まれで令和2年度中の転入者・転出者各500人、合計1,000人。郵送できたのは郵便返送を除き転入者498人、転出者488人、合計986人。

○調査の期間

令和3年6月7日（月）～令和3年6月20日（日） 14日間

○回答件数

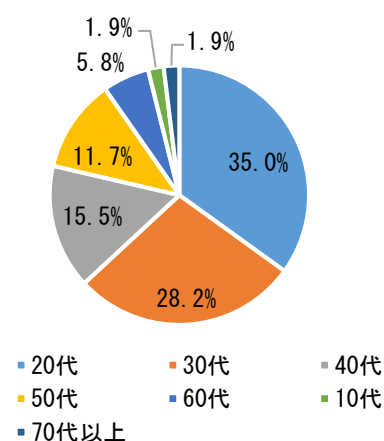
181件（986人中、回答率18.4%）。うち、転入93件（498人中、回答率18.7%）転出88件（488人中、回答率18.0%）。

2 調査結果（転入者）

（1）回答者の年齢（選択式）

回答者の年齢は、10代から30代までが全体の65.0%となり、特に最も多い20代が35.0%で、前回に比べ6.0ポイント増となっている。40代も含めると、全体の8割以上だった。

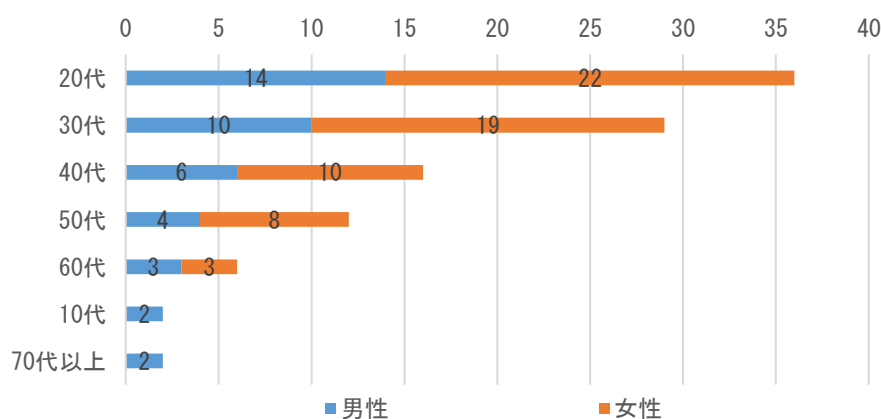
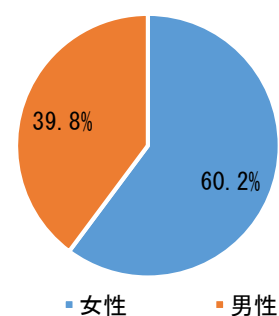
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20代	36	35.0%	27	29.0%
30代	29	28.2%	23	24.7%
40代	16	15.5%	14	15.1%
50代	12	11.7%	14	15.1%
60代	6	5.8%	14	15.1%
10代	2	1.9%	0	-
70代	2	1.9%	1	1.1%
合計	103		93	



（2）回答者の性別（選択式）

回答者の性別は、前は男性が女性をわずかに上回った程度でほぼ同数だったが、今回は6割以上が女性だった。特に20代～40代の女性だけで51人と、全体の半数近くを占めた。

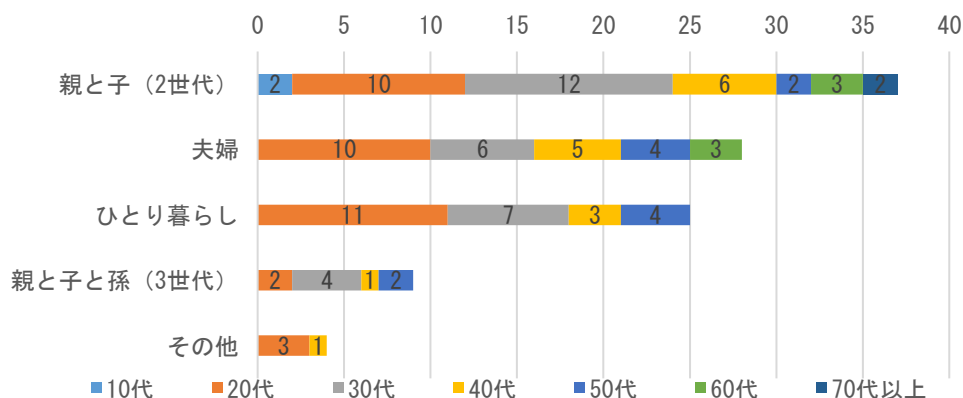
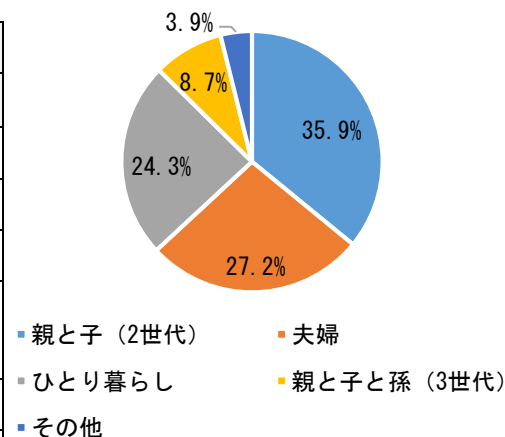
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
女性	62	60.2%	45	48.4%
男性	41	39.8%	47	50.5%
その他	0	-	1	1.1%
合計	103		93	



(3) 回答者の丹波市転入後の家族構成（選択式）

回答者の丹波市での家族構成は、「親と子（2世代）」が35.9%で前回と比べて10.1ポイント増で最も多くなった。また、前回最多の「夫婦」は2番目の27.2%で、6.1ポイント減となった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
親と子（2世代）	37	35.9%	24	25.8%
夫婦	28	27.2%	31	33.3%
ひとり暮らし	25	24.3%	30	32.3%
親と子と孫（3世代）	9	8.7%	6	6.5%
祖父母と孫	0	-	2	2.2%
その他	4	3.9%	0	-
合計	103		93	



[その他の内容]

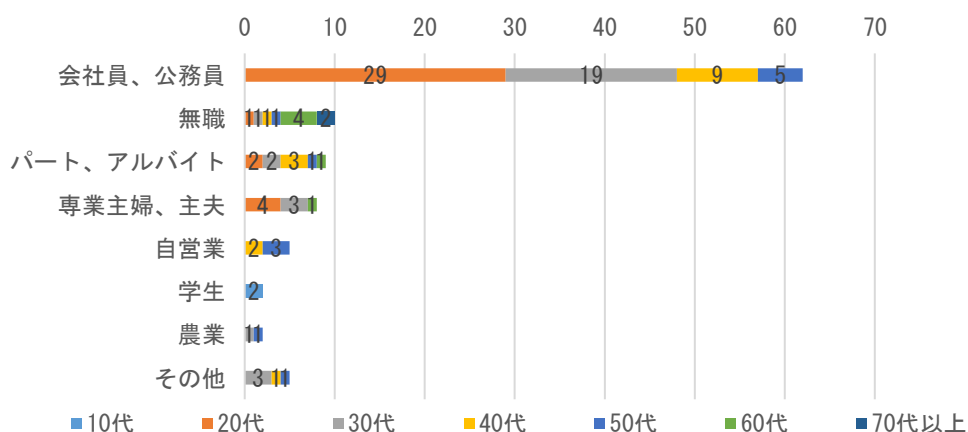
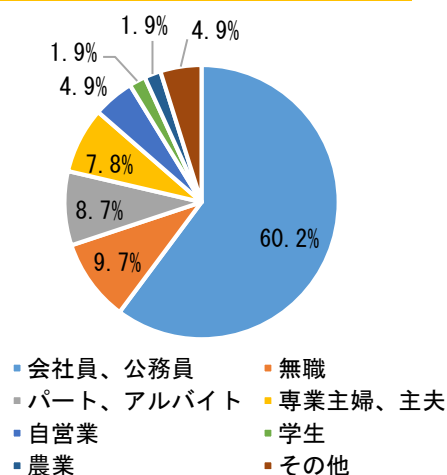
友達、4世帯、婚約者、永年おつきあいしている方との同居

(4) 回答者の丹波市転入後の職業（選択式）

回答者の丹波市での職業は、「会社員、公務員」が前回に比べて5.4ポイント増の60.2%で最も多く、続いて「無職」9.7%、「パート、アルバイト」8.7%となった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
会社員、公務員	62	60.2%	51	54.8%

無職	10	9.7%	11	11.8%
パート、アルバイト	9	8.7%	12	12.9%
専業主婦、主夫	8	7.8%	4	4.3%
自営業	5	4.9%	10	10.8%
学生	2	1.9%	0	-
農業	2	1.9%	3	3.2%
その他	5	4.9%	2	2.2%
合計	103		93	



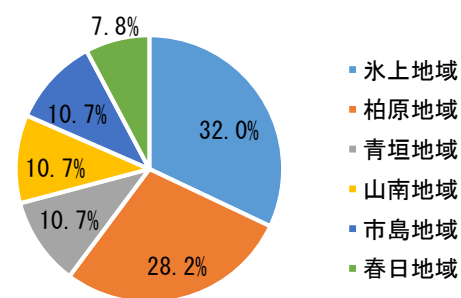
[その他の内容]

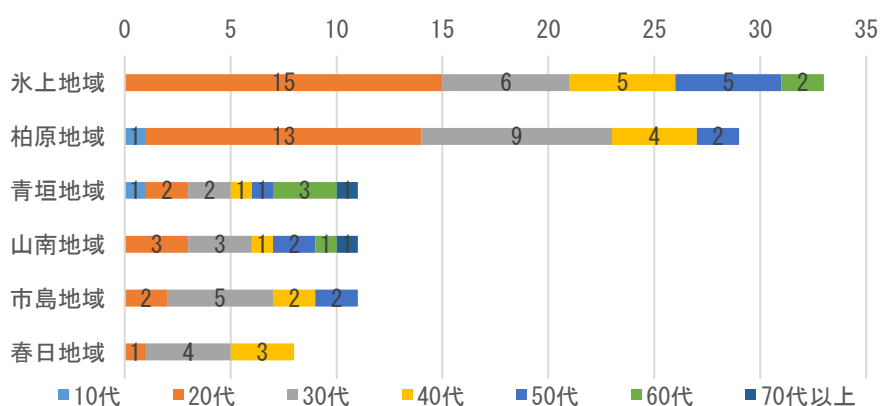
産休・育休中、従業員、家事手伝い・設備業、医療関係

(5) 回答者のお住まいの地域（選択式）

回答者の居住地域は、氷上地域が32.0%、柏原地域が前回から8.8ポイント増加して28.2%、青垣・山南・市島地域が同数の10.7%、春日地域が5.1ポイント減の7.8%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
氷上地域	33	32.0%	31	33.3%
柏原地域	29	28.2%	18	19.4%
青垣地域	11	10.7%	8	8.6%
山南地域	11	10.7%	16	17.2%
市島地域	11	10.7%	8	8.6%
春日地域	8	7.8%	12	12.9%
合計	103		93	

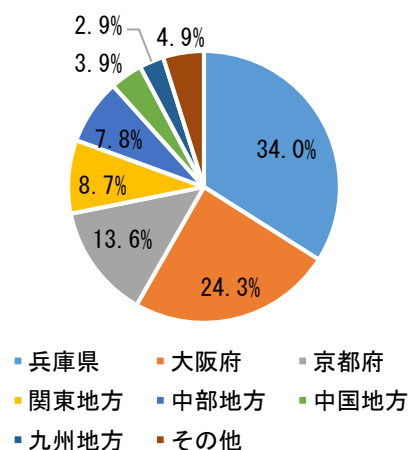




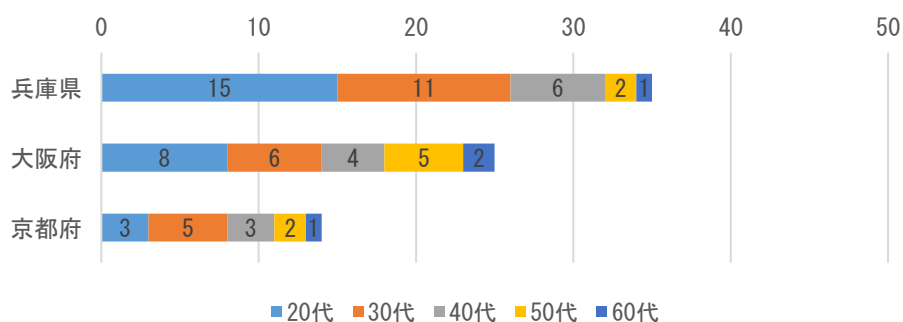
(6) 丹波市転入前の居住地（記述式）

回答者の丹波市転入前の居住地は、兵庫県、大阪府、京都府の3府県で74人と、全体の71.8%を占めた。兵庫県は前回に比べて6.9ポイント減少、中部地方は5.6ポイント増加している。市区町村別では、大阪市（9人）、神戸市（8人）、福知山市（7人）が特に多かった。前は丹波篠山市が8人で最も多かったが、今回は4人だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
兵庫県	35	34.0%	38	40.9%
大阪府	25	24.3%	19	20.4%
京都府	14	13.6%	13	14.0%
関東地方	9	8.7%	5	5.4%
中部地方	8	7.8%	2	2.2%
中国地方	4	3.9%	7	7.5%
九州地方	3	2.9%	1	1.1%
その他	5	4.9%	8 (※)	8.6%
合計	103		93	



※前回報告書では「その他」を5としたが、今回の集計では前回「その他」とした「九州地方」を単独項目とし、今回なかった四国地方、国外を「その他」に含めたため、8とした。



[上位3地域の詳細内訳]

○ 兵庫県 (35)

神戸市 (8)、西宮市 (5)、丹波篠山市 (4)、西脇市 (2)、伊丹市 (2)、洲本市 (2) 小野市 (2)、多可町 (1)、尼崎市 (1)、加東市 (1)、明石市 (1)、宍粟市 (1)、朝来市 (1)、川西市 (1)、豊岡市 (1)、高砂市 (1)、養父市 (1)

○ 大阪府 (25)

大阪市 (9)、大阪府 (2)、豊中市 (2)、枚方市 (2)、箕面市 (2)、八尾市 (2)、吹田市 (1)、東大阪市 (1)、河内長野市 (1)、貝塚市 (1)、池田市 (1)、四条畷市 (1)

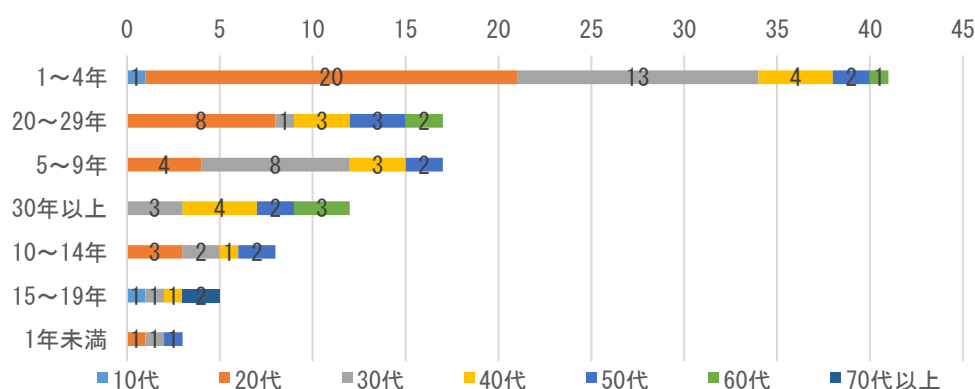
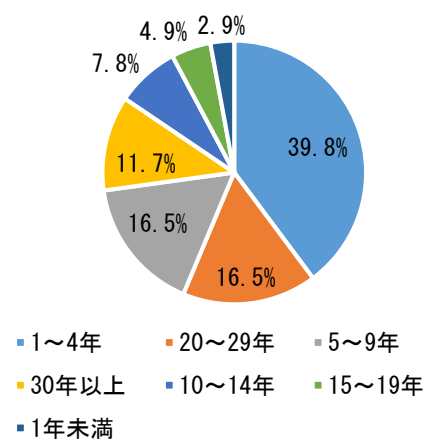
○ 京都府 (14)

福知山市 (7)、京都市 (3)、舞鶴市 (2)、宮津市 (1)、綾部市 (1)

(7) 丹波市転入前の居住地での居住期間 (記述式)

回答者の転入前の居住地での居住期間は、1～4年が39.8%で最も多かった。前回は14年以下と15年以上がほぼ半数だったが、今回は14年以下が64.1%だった。

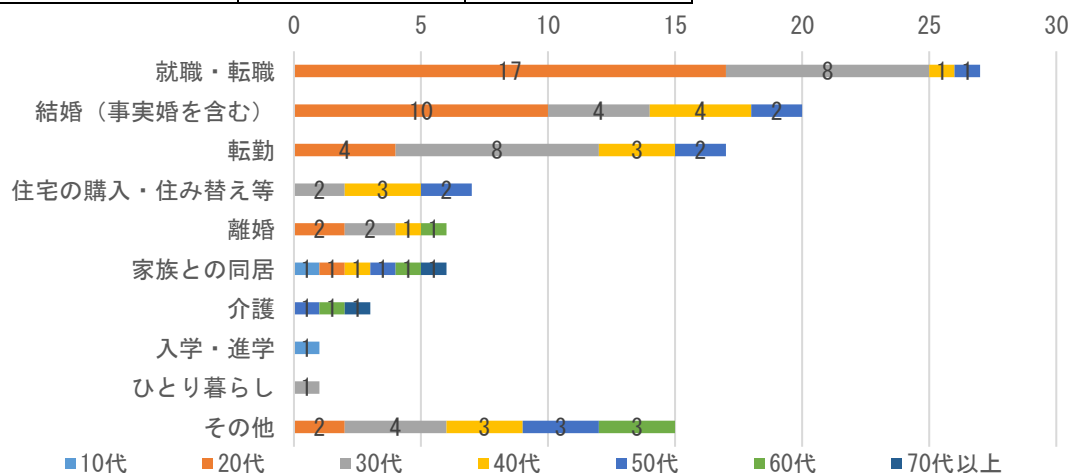
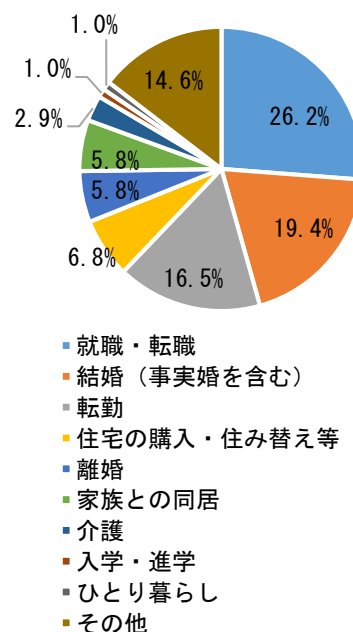
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
1～4年	41	39.8%	26	28.0%
20～29年	17	16.5%	23	24.7%
5～9年	17	16.5%	11	11.8%
30年以上	12	11.7%	17	18.3%
10～14年	8	7.8%	7	7.5%
15～19年	5	4.9%	6	6.5%
1年未満	3	2.9%	3	3.2%
合計	103		93	



(8) 丹波市に転入したきっかけ（選択式）

転入したきっかけは、「就職・転職」26.2%、「結婚（事実婚を含む）」が19.4%、「転勤」が16.5%だった。特に「就職・転職」が前回と比べて10.1ポイント増の一方、「住宅の購入・住み替え等」が8.3ポイント減だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
就職・転職	27	26.2%	15	16.1%
結婚 (事実婚を含む)	20	19.4%	20	21.5%
転勤	17	16.5%	13	14.0%
住宅の購入 ・住み替え等	7	6.8%	14	15.1%
離婚	6	5.8%	2	2.2%
家族との同居	6	5.8%	9	9.7%
介護	3	2.9%	3	3.2%
入学・進学	1	1.0%	0	-
ひとり暮らし	1	1.0%	2	2.2%
子どもの入学・進学	0	-	1	1.1%
その他	15	14.6%	14	15.1%
合計	103		93	



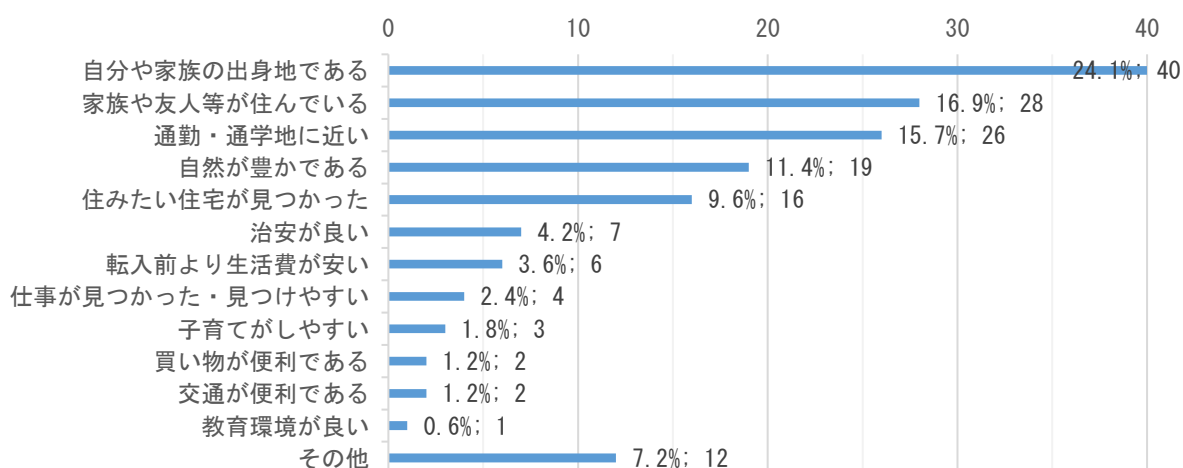
[その他の内容]

帰省、出産、前住所地との2拠点生活（市内に実家がある、田舎暮らしをしたかった）、就農、配偶者の実家への転入、在宅勤務の拡大、今後の後継者問題や住宅購入を見据えた貯金のため、開業、田舎暮らしをするため、病気療養、出産のタイミングでのコロナ蔓延

(9) 丹波市を転入先として選んだ理由（選択式・複数回答可）

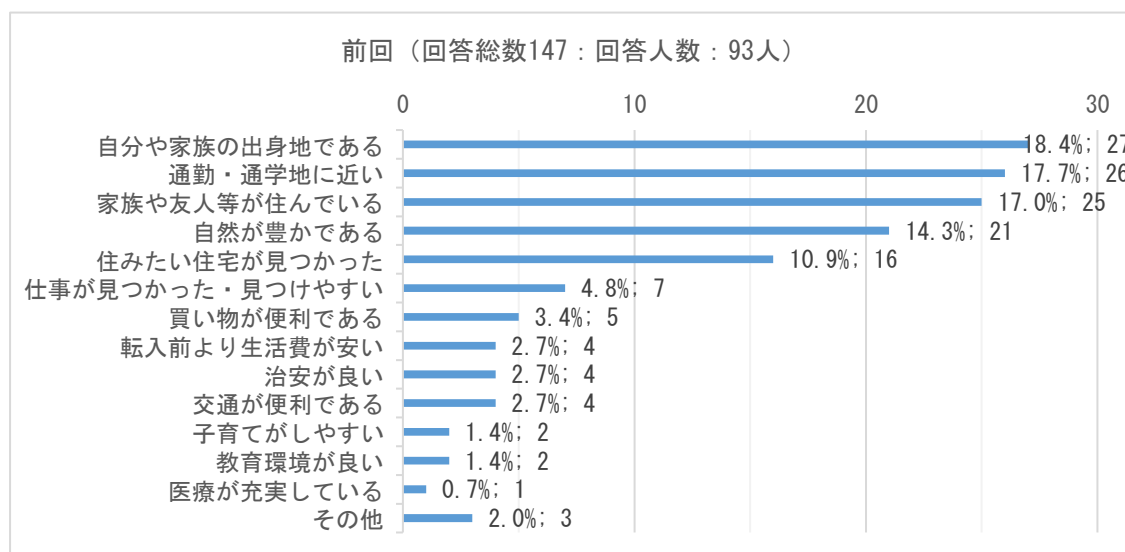
丹波市を選んだ理由は、「自分や家族の出身地である」が24.1%で最も多く、「家族や友人等が住んでいる」16.9%、「通勤・通学地に近い」15.7%が続いた。生活や暮らしの利便性に関する項目が低いのは前回同様であるが、わずかながら「治安が良い」と「転入前より生活費が安い」が増えた一方、「仕事が見つかった・見つけやすい」が減ったため、順位が入れ替わった。

(回答総数：166、回答人数：103人)



[その他の内容]

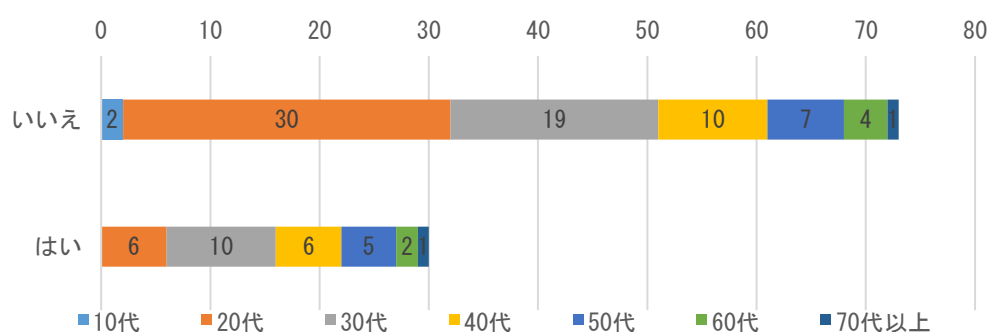
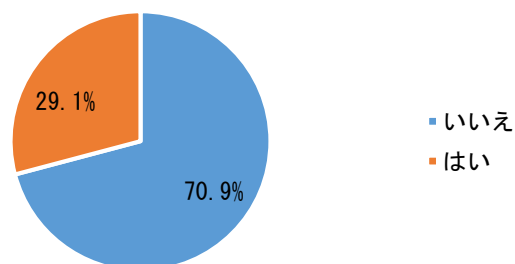
配偶者の転勤先であるため、配偶者の会社の規定による、築100年以上の家を放置できず売却もしたくないので、県内他市より全国的に有名で農業をする際に付加価値がある、伊丹空港までの利便性、物件とそれに付属した山や緑があった、やりたいこと（環境保全・居場所づくり）があった、実家に近い、移住前後で高校の学区が同じで通勤範囲であった、丹波市民の人柄の良さ、単身赴任先から戻った、農の学校へ入学するため



(10) 移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。(選択式)

「いいえ」と答えた回答者は70.9%で、前回同様約7割の回答者は移住時に丹波市以外の自治体を検討していないと答えた。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
いいえ	73	70.9%	68	73.1%
はい	30	29.1%	25	26.9%
合計	103		93	



[他に検討した自治体 (回答総数:49、回答人数28人)]

丹波市転入時に他に検討した自治体は、丹波篠山市が8で最も多く、三田市が5、京都府福知山市が4、西脇市が3と続いた。都道府県別にみると、多いのは兵庫県が32、京都府が7で、大阪府は1のみだった。また、前回は岡山県内の自治体が7 (4人) あったが、今回はなかった。

(11) 丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。

(回答者 83 人)

○ 全般

- ・高齢者優遇ばかりではなく若者に魅力ある施設やサービスを充実すべき。若者の流出が止まらない。
- ・人口減少に歯止めがかかる政策。(子供の人数による十分な補助金、就業時や転職時に選択できる企業の誘致等)
- ・住みやすい街であってほしい。
- ・利便性の向上。
- ・買い物するのが便利、子育てがしやすい、ご近所付き合いが濃厚でない事。
- ・仕事が順調や品物の値段がもっと安いなど。
- ・やりたい仕事があり都会に行きやすい。
- ・家を建てる土地、飲食店、働ける企業。
- ・仕事がある、都市大阪までの高速代割引。
- ・車いすやベビーカーでもスムーズに通行できるように歩道の幅を広げたり段差を無くしたり高齢者が気軽に出かけられるように安価で福祉タクシーや市内巡回バスの提供を増やす。
- ・移住して数ヶ月、また変わるかもしれません。のんびりしていて、知り合えばいろいろ親切にしてくださり、とてもたすかります。移住して本当によかったと思っています。お題に対しては、今思うことは、(1)水道費や国民年金料など、暮らしの根底にかかわる部分の安全性の確保および住民負担の軽減。計画的な税金運用。(2)住民に対する(今は特に健康や医療の)さまざまな情報の提供、多様性の尊重。(3)こども目線で考えるこどもの暮らしのサポート。こども目線で考えるこどもの暮らしのサポート。転入してみて、高齢化率の高さに驚いた。市全体が限界集落のようになる前に、丹波の良さを活かしたこそだて支援策が充実すれば良いと思う。理論だけでなく現実的な支援(学校以外の居場所、多様性を認めあえる公立教育、経済的な支援など)が必要だと思う。子育て支援が充実すると、若い世代の移住者も増えるのではないか。また、小規模有機農業への支援もあれば良いと思う(農業指導や畑の貸し借りマッチングなど)(4)市役所窓口の方が、自分が移住者だったら、丹波のことを知らなかったら、土地勘がなければ、丹波の文化を知らない場合は、という気持ちで接してくださること。
- ・雇用と教育の充実。

○ 移住

- ・移住者への保障。
- ・魅力を感じてもらえる行政施策。人口減の結果からしてこれまでの施策は正しいのか？PDCAは回っていますか。他の自治体の成功事例の真似から入ってもいいかもしれない。「自然の多さ」で定住する人は集まるだろうか。

○ 仕事

- ・仕事。
- ・就職先がもっと有れば。
- ・就労場所がたくさんあること。
- ・収入源確保。
- ・賃金安すぎる！あり得ない！

○ まちの環境

- ・他の街にあるような商業施設。
- ・ショッピングモールを拡大し、買い物の幅を広げる。

- ・スーパー銭湯、ドンキホーテのような雑貨店など。
- ・色んなジャンルの飲食店の増加があれば嬉しいです。
- ・本屋など。
- ・スーパー、銀行、病院、コンビニなどない。
- ・映画館。
- ・遊べるところがない。
- ・趣味になるような事が出来る施設。
- ・浄化槽地域なので、下水を検討していただきたいです。
- ・自転車および歩行者専用道路の整備。

○ 子育て・教育・男女共同参画

- ・子育てサポートの充実。
- ・子育て環境が良いこと。
- ・子育て世代にとって魅力的な市独自の目玉を用意する。
- ・子育て支援策。
- ・明石市のように、子供にお金をかける自治体になってください。
- ・子育て世代としては、公園など、子供が出かけられる施設の整備を希望する。公園がなさすぎる。大規模なものでなくて良いので、砂場と少しの遊具があれば十分。学習支援センターでの活動は、相談窓口にもなり非常に心強く感じている。継続してほしい。また、明石市での子育て支援について参考にして頂けると、経済的に非常に助かる。財政面で実現は難しいと思うが、少しでも近づけると、子育て世帯には心強い。
- ・育児がしやすい環境や施設作り、育児の協力体制の提供を増やしたりわかりやすくした方が若い世代も住んでいきたいと感じる。
- ・子育てにかかる費用の補助がもっと充実するといい。
- ・過疎化が進んでいるので、若い世代が楽しみながら住める環境の拡充や子育てしやすい環境の更なる整備。所得によるこどもの医療費の格差等はもう少し緩くするか無くしても良いと思う。医療費がかかるからと、このご時世に子どもが発熱してもしばらく様子を見る家庭もある。
- ・大阪では学童が年間 500 円で安価。など…子育て世帯に住みやすい環境であれば人口も増えると思います。
- ・子ども医療の充実、子供教育の充実、若い世代の社会保障充実。
- ・保育園の入園待ちが起こらない様がんばってください。
- ・保育園がとて大きいのに待機児童が多く残念です。
- ・働く上でもっと保育園があつたら嬉しい。
- ・子どもの部活の試合や合同練習試合の際の送迎バス。
- ・高校・大学がたくさんあれば子どもを連れて長い間定住できる。
- ・子供たちが、お友達とのびのび遊べるアスレチックや公園などが市島町にもほしい。不審者や怖い事件が増えている中で、子供たちで考え、のびのびと外で遊ばせる機会が減っています。外がダメならゲームばかり。丹波自然の中で、自然にできた物に触れ、考え、体験できるような子供たちの遊び場があればいいなと思います。

○生活関連サービス・生活費

- ・ゴミ袋が高すぎる。
- ・市のゴミ袋の料金を安くする。
- ・ゴミ袋の価格が高い。ゴミ袋に名前を書くのはいかなものか？
- ・ゴミ袋が異常に高い！腹ただしく感じる！市販の半透明か透明の袋でもいいと思う！ゴミ袋

に名前書くのも、プライバシーの問題！

- ・ゴミ袋が高いので安くして欲しい。生活していく以上ゴミは出る。ゴミが出ないように気をつけているが限度がある。またゴミ袋に名前を書くことに疑問がある。なぜ、名前が必要なのか。
- ・ゴミ袋が非常に高く仕分けも厳しく住みにくい！
- ・いろいろな自治体を見たが、ゴミ袋の値段が高いので価格変更をした方がいい。人口増加を目指しているなら焼却炉の増加や変更をした方がいいと思う。
- ・特に無いですが、ゴミ袋が高いのにびっくりしました。もっと下げる方向で検討をお願いします。
- ・ゴミ袋が転居により倍以上の値段になったため、安くしてほしい。
- ・指定ごみ袋の価格の値下げ。
- ・丹波市は上下水道代が非常に高いのもう少し安くして欲しい。
- ・水道代の値下げ。福知山市と比べるとかなり高い。
- ・プロパンガスでガス代が高いので都市ガスなどの整備を進めてほしい！
- ・プロパンガスが極悪に高い。定住させる気があれば業者には是正を行うか、オール電化を推進すべき。
- ・水道下水の基本料金を下げる、都市ガスの整備などインフラの状況を改善していただきたい。
- ・生活にかかる経費の負担軽減。大阪にすんでいた頃より水道代、ガス代が高い。
- ・ゴミ袋が高い、資源ごみの回収が分かりにくい（拠点とは何かわからない）、水道代が高い、水道料金の支払い期限が短すぎて不便、水道料金がクレジットカードで払えないのが不便、都市ガスが使えない、電車の本数が少なすぎる、などの改善。特に固定費についてははっきり考えていただきたい。
- ・水道代やガス代が高いため、光熱費が安くなるといい。
- ・ゴミ袋の値段の低下、プロパンガスの値段の低下をお願いしたいです。
- ・ゴミ袋と水道代の低価格化です。
- ・水道代高い、ゴミ袋高い、自治会費高い。
- ・ごみ収集カレンダーの全戸配布、水道利用開始直後（検針前）の水道料金免除。
- ・住民税の低下、ゴミ袋代の無料化。
- ・住民税減税。
- ・税金が安いこと。
- ・税金が安くなればいいです。
- ・交通手段の充実。
- ・交通の利便性。
- ・交通の便改善。
- ・免許返納しても独りで出掛けられる様な細部にわたって巡回バスが必要。
- ・お買い物巡回バス運行。
- ・田舎は車社会ですが、バスなどのアクセスをもっと増やして欲しい。いずれは免許返納しなくてはならない。年を取れば医療関係など交通機関が必要。
- ・車がなくても高齢者が困らない環境。
- ・電車がもう少しある。
- ・電車の本数を増やす。
- ・バスなど、自家用車や自転車以外の公共交通機関の発展を求めます。
- ・公共交通機関がもう少し増えれば良いなあと思います。今は車が運転できますが、歳をとるとバスに頼らざるをえないと思うので。
- ・運転代行。

○福祉・医療

- ・福祉の充実。
- ・医療、福祉の充実。
- ・医療充実。
- ・眼科、耳鼻科の病院が市島町にはないのが不便です。

○その他

- ・公共の施設の利用方法などをもっとわかるようにした方がいい。
- ・市役所の各課の相談の一次窓口をオンライン化。(zoom など)
- ・いろんな届け出をネット手続き可能にしてほしい。もしくは仕事を休まなくても済むような。
- ・福井防災シグナル、ネットで見てみて下さい。優れものと思います。
- ・若い人の声を聞き、若い人のアイデアが生かされるような町づくりに、市が全面的に協力していく。
- ・自治体主催の婚活パーティーとかあれば面白いかなと思います。
- ・住民同士の交流できる場や催しが増えると良いと思います。
- ・市役所職員の対応が悪い、人口が少ないので対応数が少ないのか慣れてない人が多く手続き時にかなり困った。地元の人に慣れすぎ。もっと教育して欲しい。
- ・もう少し住民のことを気遣った方がいい。
- ・やる気 笑 行政も住民も日本人らしさを守る、真っ当な政治。
- ・自分から取りに行かなくても情報が入る。(例えば広報紙が配布されるとか。選挙広報も配られない町は初めてです。)
- ・どの地域でも高齢化が進んでいるので、高齢者が穏やかに安心して生活できる場であってほしい。自然が豊かであるが、穏やかに安心して生活するためには、自然も維持管理しなければなりません。それを担うのが、田舎では住人である高齢者なので限度があります。都会では場所によりますが、住人が維持管理する自然というのは少なく、全くないという人も少なくありません。また、田舎では自治会単位での生活維持活動の比重が大きく、それを担うのも住人で自治会によって違いはあるのですが、高齢者が多くを担っています。またどうしても車がないと一定の生活水準が維持できないのですが、それも高齢者にとって厳しく、都会と大きく違うところです。もちろん、田舎には良いところがいっぱいあります。
- ・高齢者が穏やかに安心して生活できる場にするためには、やはり若い力が必要です。どんな丹波市にしたいのかがよく分からないし、それに向けて丹波市は何をどうしているのかがよくわかりません。丹波市の住民以外の人たち、特に若い人たちにとって丹波市の目指す姿が見えているのか分かりません。今すぐ若い人たちを呼び寄せるといよりも、将来を見据えて取り組むことが大事だと思います。近い将来ならば、外国人にもっと住んでもらえる手立てを行政としてできることはあると思います。そして国際都市でなく国際田舎？国際色豊かな丹波市とかアピールできそうな気もします。コロナ禍後外国人に田舎観光に来てもらえるように今から宣伝するとか？少し脱線したかもしれませんが、今は住むのなら、丹波市でなくてもどこの田舎でもいいという感覚です。そうではなくて、他の田舎でなくて丹波市ならではの魅力がわかるような取り組みが必要なのかなと思います。それも丹波市内外に。
- ・自治会の活動をシンプルにしたり、会費を安くする。
- ・町内会の自由参加。強制は反発の元。SNS が発達した今は特にしない方がいい。しかしながら不参加の人へは、会費を倍額払う等金銭面でデメリットを出さないと不公平の声が上がるので参加する方への配慮も行う様にする。
- ・社会制度(医療、福祉、学校、就職先、いろんな補助)の充実。
- ・車がないと生活できないのでガソリン代の補助。
- ・人が少ない地域なのに住むときや家を建てる人に補助金とか出すと丹波市で住もうという人

は増えるとおもいます。

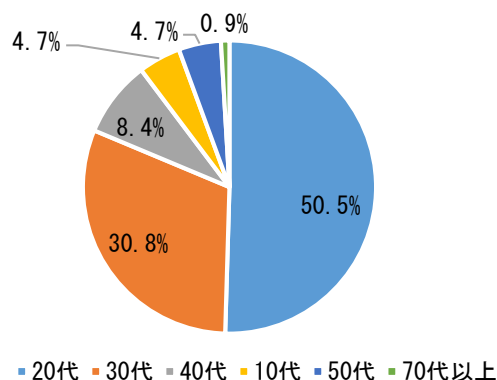
- ・電動アシスト自転車補助。
- ・金額面でも支援が増えればいいありがたいです。
- ・10万をもらいたいです。
- ・丹波市の農業に若い世代も巻き込んで「儲かる農業」を目指す行政。
- ・私は有機農業に従事しているので、有機農業の支援策や、獣害対策の支援策があれば農業を続けやすいです。
- ・自営斡旋。
- ・規則を守ります。
- ・温かさ、ぬくもり。
- ・特になし。
- ・スーパーや郵便局、信用金庫は近くにありべんりです。静かな環境のなかで不便を感じることなく生活させて頂いております。
- ・住み続けたくないの、わかりません。
- ・特になし。
- ・高齢でも住みやすい環境や待遇の更なる整備。
- ・女子高校野球の発展のようなスポーツイベントの活性化。
- ・わざわざ都会から遊びに来てもらえる魅力。
- ・海外からも注目を集める限定的な食や飲み物の商品化と現地でのみ味わえる商品づくりのブランディング。
- ・ラフティング、キャニオニング、登山、スカイスportsなどのアウトドアスポーツの全国的なブランド化とその宣伝力。

3 調査結果（転出者）

（1）回答者の年齢（選択式）

回答者の年齢は、20代が50.5%と約半分、10代～30代が全体の86.0%、40代も含めて94.4%と、前回に引き続き、若年層や主に子育て世代となる回答者が多く、60代の回答者はいなかった。転入者でも10代～40代は多かったが、特に20代は転入者では35.0%だったため、それに比べると大幅に多かった。

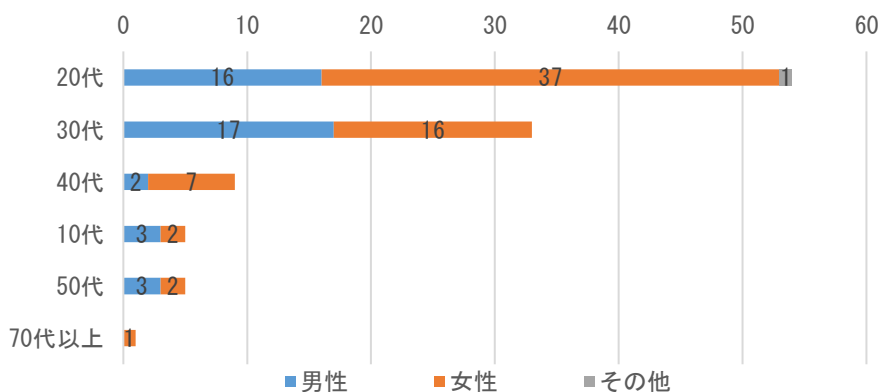
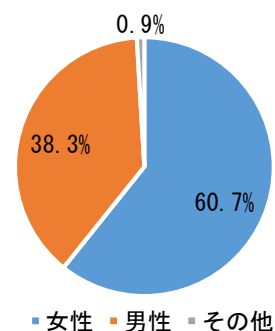
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20代	54	50.5%	49	55.7%
30代	33	30.8%	18	20.5%
40代	9	8.4%	7	8.0%
10代	5	4.7%	9	10.2%
50代	5	4.7%	4	4.5%
70代以上	1	0.9%	1	1.1%
合計	107		88	



（2）回答者の性別（選択式）

回答者の性別は、女性が60.7%、男性が38.3%だった。前回に比べて、女性の回答が増加し、10代～40代の女性は62人で回答者全体の半数以上だった。

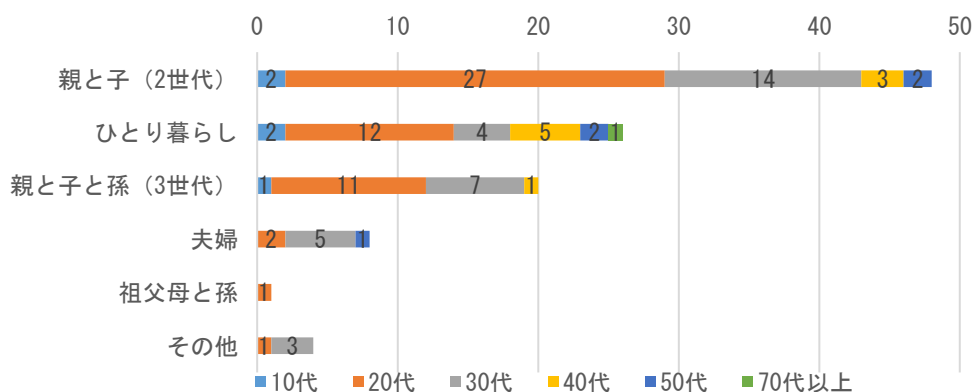
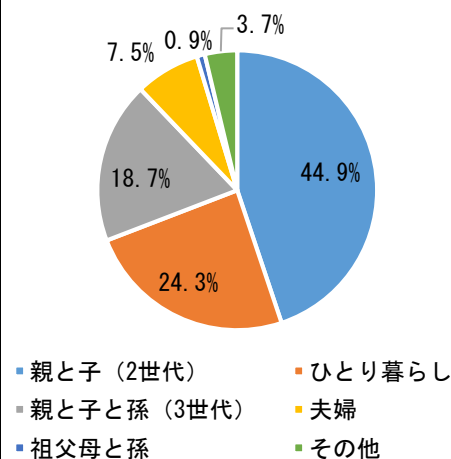
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
女性	65	60.7%	48	54.5%
男性	41	38.3%	40	45.5%
その他	1	0.9%	0	-
合計	107		88	



(3) 回答者の丹波市在住時の家族構成（選択式）

回答者の丹波市在住時の家族構成は、もっとも多かった「親と子（2世代）」が44.9%、続いて「ひとり暮らし」が24.3%、「親と子と孫（3世代）」が18.7%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
親と子（2世代）	48	44.9%	31	35.2%
ひとり暮らし	26	24.3%	21	23.9%
親と子と孫（3世代）	20	18.7%	25	28.4%
夫婦	8	7.5%	9	10.2%
祖父母と孫	1	0.9%	1	1.1%
その他	4	3.7%	1	1.1%
合計	107		88	



[その他の内容]

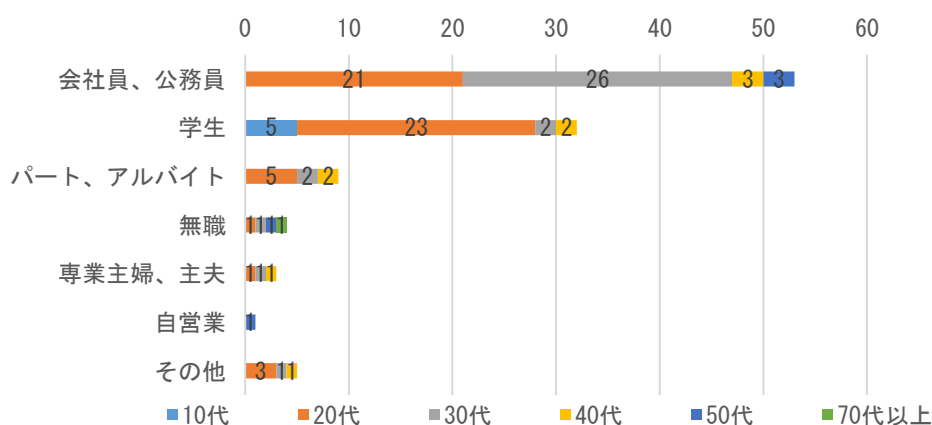
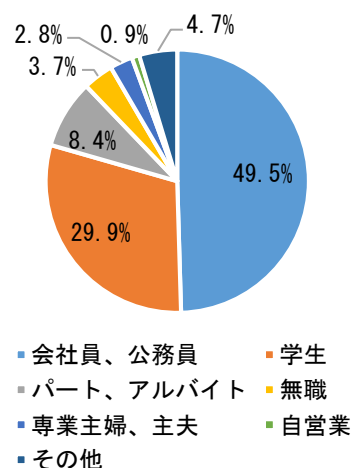
4世代、同居

(4) 回答者の丹波市在住時の職業（選択式）

回答者の職業は、「会社員、公務員」が49.5%と約半数あり、「学生」29.9%、「パート、アルバイト」8.4%の3つで全体の約9割を占めている。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
会社員、公務員	53	49.5%	45	51.1%
学生	32	29.9%	23	26.1%

パート、アルバイト	9	8.4%	11	12.5%
無職	4	3.7%	4	4.5%
専業主婦、主夫	3	2.8%	4	4.5%
自営業	1	0.9%	0	-
その他	5	4.7%	1	1.1%
合計	107		88	



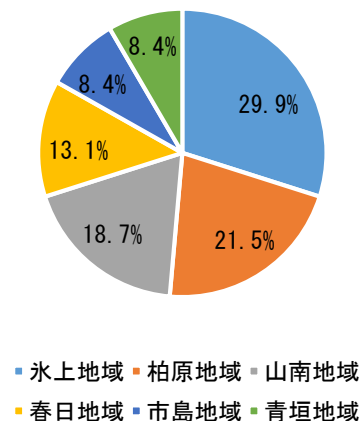
[その他の内容]

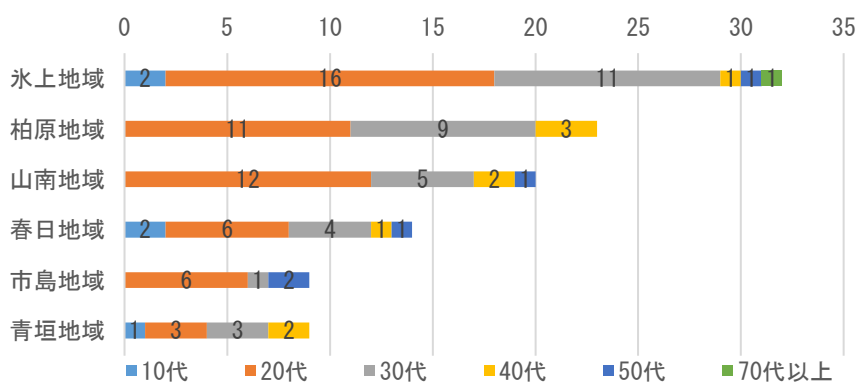
実習生、保育士、派遣社員

(5) 回答者の丹波市でのお住まいの地域（選択式）

回答者の居住地域は、氷上地域が29.9%、柏原地域21.5%、山南地域18.7%、春日地域13.1%と続いている。特に柏原地域は7.9ポイントの大幅増となっている。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
氷上地域	32	29.9%	23	26.1%
柏原地域	23	21.5%	12	13.6%
山南地域	20	18.7%	15	17.0%
春日地域	14	13.1%	16	18.2%
市島地域	9	8.4%	13	14.8%
青垣地域	9	8.4%	9	10.2%
合計	107		88	



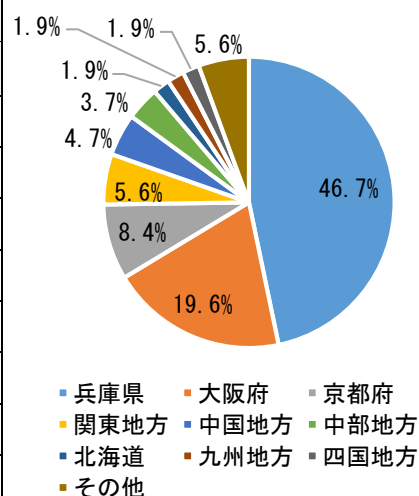


(6) 丹波市転出後の居住地（選択式）

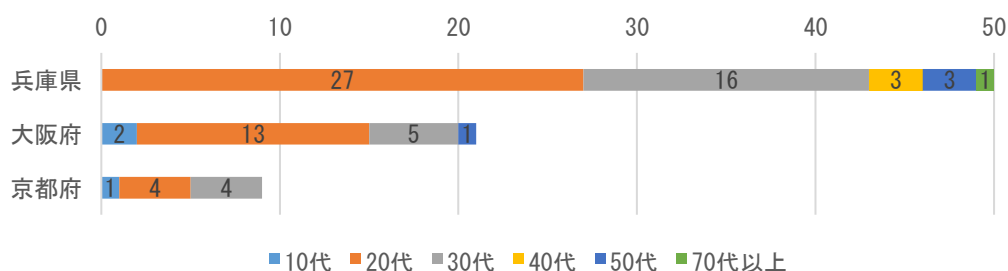
回答者の転出後の居住地は、兵庫県内が46.7%で最も多く、大阪、京都を合わせた3府県で全体の74.8%を占めた。前は兵庫県、大阪府の次に多かった関東地方が減少した一方で京都府が微増し、関東地方を抜き3番目となった。

市区町村別では、神戸市（15人）、大阪市（10人）、丹波篠山市（6人）、伊丹市・三田市（4人）が多かった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
兵庫県	50	46.7%	38	43.2%
大阪府	21	19.6%	16	18.2%
京都府	9	8.4%	6	6.8%
関東地方	6	5.6%	9	10.2%
中国地方	5	4.7%	7	8.0%
中部地方	4	3.7%	4	4.5%
北海道	2	1.9%	3	3.4%
九州地方	2	1.9%	2	2.3%
四国地方	2	1.9%	1	1.1%
その他	6	5.6%	2 (※)	2.3%
合計	107		88	



※前回報告書と「その他」の数が異なる（3→2）が、前回「その他」としていた「四国地方」を今回は単独項目としたため。



[上位3地域の詳細内訳]

○ 兵庫県 (50)

神戸市 (15)、丹波篠山市 (6)、三田市 (4)、伊丹市 (4)、西脇市 (2)、
 尼崎市 (2)、明石市 (2)、宝塚市 (2)、川西市 (2)、多可町 (2)、加古
 川市 (1)、豊岡市 (1)、姫路市 (1)、小野市 (1)、朝来市 (1)、南あわ
 じ市 (1)、洲本市 (1)、養父市 (1)、たつの市 (1)

○ 大阪府 (21)

大阪市 (10)、大阪府 (5)、茨木市 (1)、東大阪市 (1)、門真市 (1)、大
 阪狭山市 (1)、羽曳野市 (1)、高槻市 (1)

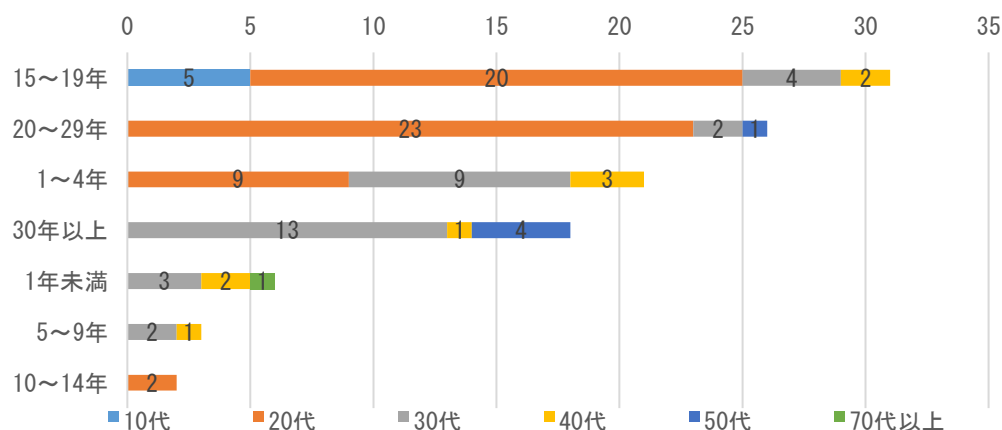
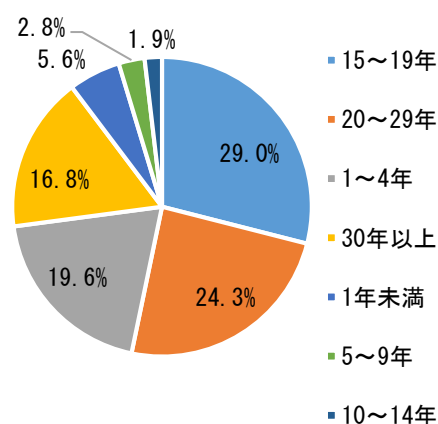
○ 京都府 (9)

京都市 (2)、福知山市 (2)、京都府 (2)、亀岡市 (1)、京田辺市 (1)、
 京丹後市 (1)

(7) 丹波市での居住期間 (記述式)

回答者の転出前の居住地での居住期間は、15～19年が29.0%、20～29年が
 24.3%、1～4年が19.6%だった。また、転入者では14年以下の人が多かった
 が、転出者では70.1%の人が15年以上と答えた。

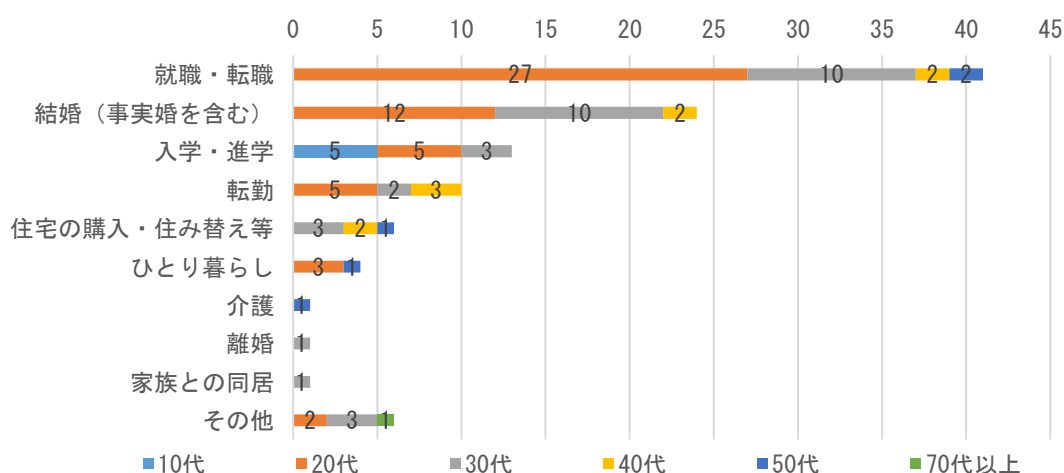
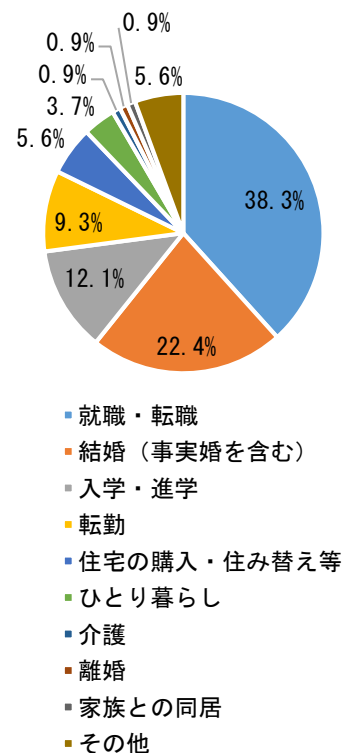
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
15～19年	31	29.0%	25	28.4%
20～29年	26	24.3%	25	28.4%
1～4年	21	19.6%	18	20.5%
30年以上	18	16.8%	7	8.0%
1年未満	6	5.6%	6	6.8%
5～9年	3	2.8%	4	4.5%
10～14年	2	1.9%	3	3.4%
合計	107		88	



(8) 丹波市から転出したきっかけ（選択式）

丹波市から転出したきっかけでは、「就職・転職」が38.3%で最も多く、続いて「結婚（事実婚を含む）」が22.4%、あわせて60.7%だった。その次に「入学・進学」が12.1%、「転勤」が9.3%、「住宅の購入・住み替え等」が5.6%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
就職・転職	41	38.3%	33	37.5%
結婚 (事実婚を含む)	24	22.4%	21	23.9%
入学・進学	13	12.1%	9	10.2%
転勤	10	9.3%	8	9.1%
住宅の購入 ・住み替え等	6	5.6%	3	3.4%
ひとり暮らし	4	3.7%	6	6.8%
介護	1	0.9%	0	-
離婚	1	0.9%	2	2.3%
家族との同居	1	0.9%	1	1.1%
その他	6	5.6%	5	5.7%
合計	107		88	



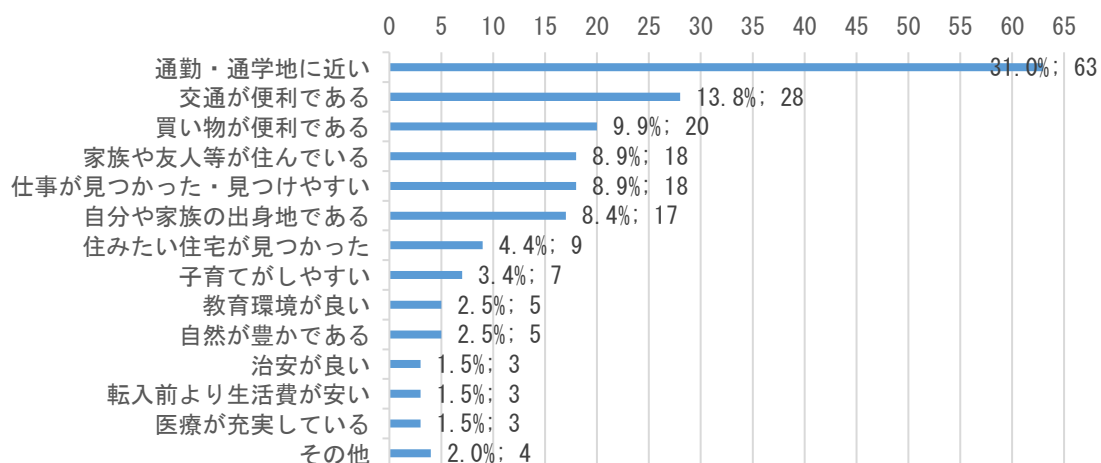
[その他の内容]

同棲、妻の出産、福祉サービスでの不当な扱い、地域の治安が悪く騒音に耐えられない、施設が変わった、一日中除草した草を燃やす煙の臭いで窓が開けられず換気ができない

(9) 現在の居住地を転出先として選んだ理由（選択式）

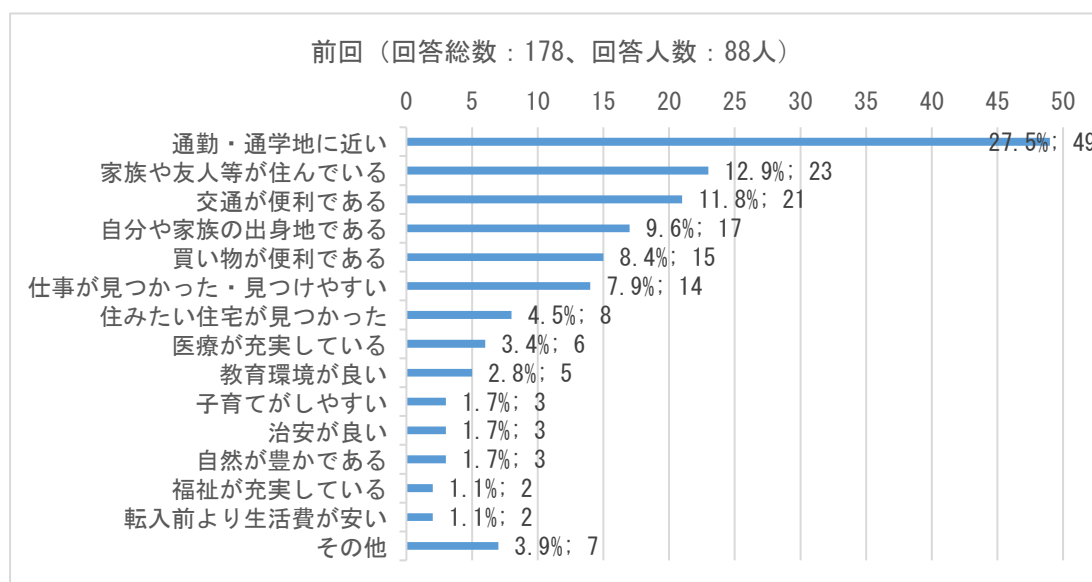
転出先として選んだ理由は、「通勤・通学地に近い」が突出しているのは前回と同じだが、前回2番目だった「家族や友人等が住んでいる」が4.0ポイント減となり、「交通が便利である」、「買い物が便利である」という項目が2番目、3番目となった。

(回答総数：203、回答人数：107人)



[その他の内容]

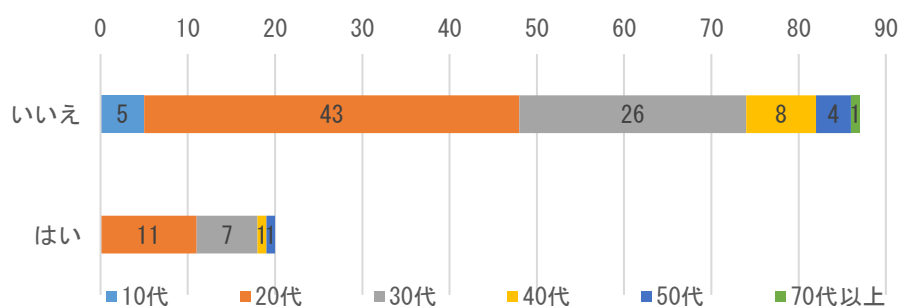
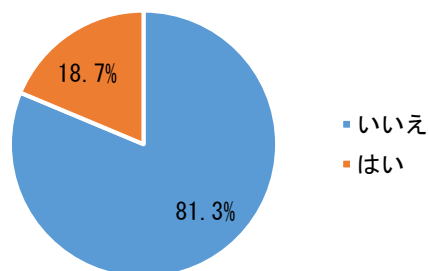
将来子どもが通学しやすいと思ったため、結婚のため、煙の害から解放されて空気がきれい、社宅があるため



(10) 移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。(選択式)

いいえと答えた回答者は81.3%で、8割以上の転出者が転出先以外の自治体を検討していない。はいと答えた回答者も18.7%あった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
いいえ	87	81.3%	72	81.8%
はい	20	18.7%	16	18.2%
合計	107		88	



[他に検討した自治体 (回答総数:20、回答人数18人)]

転出時に検討した自治体は、伊丹市が3、続いて三田市、尼崎市、西宮市、岡山県倉敷市がそれぞれ2であった。回答者の多くが、転出元もしくは転出先の同一か隣接する府県を転出先の候補として検討している。

(11) これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたい
 と思いますか。

(回答者 70 人)

○ 全般

- ・就職、病院、買い物等の利便性、子育てに関しては、とても住みやすかったです。小学校区が広く、どこでも同じですが、高齢者ドライバーの危険も感じ、小学校は近い方が良いと思い始めたのが移住のきっかけです。ゴミ袋が破れやすく、臭いも出る上に高い事。他の市のように、高校まで医療費無料だったら、離れず居たと思います。
- ・電車の本数が増えたり、公園がたくさんあったり、子育てしやすい環境。
- ・一人暮らしに対しての手当や、働く世代のサポートの充実。
- ・障害の有無に関わらず、誰もが平等に生活出来る市になれば良いと思います。
- ・仕事が豊富で、住居など入れる所があれば。
- ・大都市へのアクセスが良くなれば移住のきっかけになると思う。
- ・働く場所が増えたり、交通の便が良くなると嬉しいです。
- ・交通が便利、買い物がしやすい、老後住みやすい環境。
- ・便利さ。
- ・転勤がきっかけで4年程住んでましたが、人の温かみ、自然がとても魅力的でした。転勤と家族の近くに移り住むということがなければ、これからも住みたかった程、魅力的でした。丹波市の発展となると、職の充実、深夜帯の遊び場の有無等が、若年層の囲い込みに繋がると個人的には感じます。そうすることで、年配層を支える事にも繋がるかと思います。離れてしまいましたが、たくさんの思い出が作れた場所でした。ありがとうございました。
- ・より多くの方に住んでいただくなら、田舎なので移動手段として車や自転車等が必須なので、申請さえすれば補助金が出る等あれば丹波市に住んでくれる人が少し増えるかもしれないですね。また反対に、車に乗れなくなった高齢者の方への食料やクリーニング等の配送サービスを充実させてほしい。専用タブレットを配布して簡単操作なら高齢者も利用しやすいかもしれません。それに見守り機能等も付けて安否確認も出来ると良いと思います。そうすれば老後を田舎で、のんびり過ごしたい人も丹波市への移住を考えてくれるし、昔から住んでる人にも喜ばれるはずです。

○ 移住 (Uターン)

- ・転入者が浮かないような街づくり、住民の理解をすすめる。

○ 就職・仕事

- ・働く場所、環境。
- ・働きたいと思える就職先があり、そこへ転職できれば。
- ・仕事が増え一定の給料がある。
- ・今と同じぐらいの就労環境があれば丹波市に住みたいです。
- ・働く場所があればいいと思う。
- ・今と同程度、仕事内容、待遇の働き口がある。もしくは、今の職場がさらに在宅ワークが進めば。
- ・安定した雇用先があれば移住のきっかけになると思う。
- ・職場に近い。働き口がある。

○ まちの環境

- ・定年後、大型商業施設ができれば！
- ・アミューズメントの充実。

- ・大きな商業施設ができる。
 - ・お店などの充実性。
 - ・都市部にあるような店舗が増えたら。
- 子育て・教育・男女共同参画
- ・小中高の教育レベルがあがる。(学力最低水準があがる。上位層のケアも欠かさない)
 - ・子育てしやすい街になれば。
 - ・手厚い子育て支援。
 - ・保育制度がしっかりしていて子供の環境を優先いたします。いずれは丹波市に帰りたいです。
 - ・子供を育てるお金の支援制度。
 - ・子育て支援が充実したら。
 - ・子どものアスレチックや室内の施設など遊ぶところが増えたらいいな。
- 医療・生活関連サービス・生活費
- ・ゴミ袋が安くなる。
 - ・ゴミ袋が安くなってほしい。
 - ・ゴミ袋を安くして貰えると助かる。
 - ・ゴミ袋を安くするか私を市長にしてくれたら。
 - ・一人暮らしにするには、水道代やガス代が高い。また、家賃も神戸のような地域と同じぐらいなので、生きているだけでお金が結構かかる。気候はよく、住民の人柄も良い住みやすい街ではあったので水道、ガス、家賃等の料金が安くなれば良いなとは思う。
 - ・公共交通機関の利便性が向上。
 - ・自宅からスーパーまでの距離が近くなる。
 - ・どこに行くのも車がないと生活できない。もっと車以外の交通が便利になれば自分が老いた時に田舎に帰りやすい。
 - ・今より交通の便が良くなったり、商業施設が増える。
 - ・交通の便が良くなる。
 - ・公共交通機関がしっかりしていたら高齢になった時に検討するかもしれない。
 - ・電車の本数が増える。
 - ・阪神圏に通勤、通学する交通手段が確立されれば、丹波市にUターンする事が出来る。
 - ・交通の便が良くなれば。
 - ・充実した総合病院。
 - ・大阪、神戸へのアクセス改善。
 - ・電車の本数が多かったら。
 - ・今よりも公共交通機関が充実したら帰りたいと思っています。通勤の関係で丹波市に住めない実情があるため、大阪や神戸への通勤が容易になったら移住を考えるかもしれません。
 - ・電車の本数が増えたら。
- まちづくり
- ・各地区による自治だけでなく、町単位・市単位による各家庭（主に高齢者）の社会との繋がりを強くする。
 - ・現実的に両親が暮らす一軒家を自分が維持することは難しいので、若者世代が戻るために魅力的な賃貸物件が増えると良いと思う。
 - ・丹波市は自然も豊かで特産物も多いので、地産地消を売りにしていくと良いのではないかと思います。
 - ・丹波がイヤな訳ではなく、挑戦したい事があって転出しました。丹波は京阪神から近い程よ

い田舎なので、大好きです。なので、転出してからも遊びに行っています。丹波には気軽に泊まれる宿がないのが残念です。農家民宿でもなく、ビジネスホテルでもなく、普通に美味しい朝ごはん、夕御飯が食べられてゆっくり出来る宿があったら訪れる人も増えるんじゃないかと思います。

○ その他

- ・医療従事者で新型コロナウイルスによる人員不足により、オファーを頂き転出しましたので、大阪市の医療体制が整えば帰りたと思っています。
- ・今のままの丹波だったら帰りた。
- ・丹波篠山市は過疎地域ですが、色々支援制度を設けており支援があると住んでもいいかな。と思う気持ちが出てきて住みやすい場所になっているとおもいます。丹波市には市島に住んでいましたが特に何もなくて住んでいても利便性が見えませんでした。自分の出身の鴨庄地区に住んでいましたが市営住宅の老朽化もあり市営住宅があるにもかかわらず子供の人数は減ってる一方だな。と思いました。この先この地区に子供が増える事があるのか心配になりました。自然に囲まれ田舎暮らしには最適な場所だと思います。少しでも人口が増える事を願っております。
- ・病気が治って色々な諸問題が解決したら。
- ・二度と住みたくはない。空気汚染がひどい街。
- ・ある程度仕事が安定したら帰る予定。
- ・住宅ローンが借りれて実家が建て替えてきたら帰ります。
- ・地元の安心感が大好きで忙しくても月に1回帰ってます。これからもよろしくお願いします。
- ・わからない。
- ・転勤になったら。
- ・夫の転勤。
- ・現明石市長のような人が現れて子育てや税負担等、市民の暮らしを本当に考えられるような政策をどんどん打ち出すようになったら。
- ・家族はまだ住んでいるので定期的に帰ります。
- ・丹波市は住みやすいところです。人々はとてもフレンドリーで親切です。すべての事務処理は迅速に処理しよりされます。丹波市はどんどん発展していくと思います。丹波市が恋しい。そこに戻って生きてみたいです。
- ・二度と帰りたくないです。
- ・親の側に住むことが、結婚した時から決まっていたので、今後は引っ越すことはない。
- ・市民同士のコミュニケーションを取れる場がたくさんある。
- ・田舎特有の近所付き合いや消防団の参加等がなくなれば戻ります。
- ・田舎特有の閉塞感がなくなること。交通に車以外の選択肢を持てること。
- ・その時がきたら。
- ・家を建てる支援制度。
- ・子どもが成人したら。
- ・お盆とお正月の里帰り。
- ・地元から離れて自分一人で色々なことを学びたかったから転出した。
- ・近所の目や人との関わりが少し苦手だった。
- ・仕事都合または家族都合。
- ・仕事があれば。
- ・介護が終わった時。
- ・多くの補助金がある。(特に子供関連)
- ・医療関係の資格を持つ方にも多く住んでほしいので、丹波市内で医療職に就いてくれた人に

は補助金や空家（改装して）を提供してほしい。

- 実家（丹波で）で髪を洗うと、すごくサラサラになります。やっぱり水質が良いのだと思います。水質は良い状態をこれからも保ってほしいです。
- 実家のリフォームが終われば帰る。
- 気分転換できる場所が少ない。
- 元々丹波市は良いところだと思うので、いずれは帰りたいと思っています。
- 今後結婚、子育てを控える身として、子育て支援や家族支援政策が分かりにくい。どういった施策があるのかもよく分からない。やはり改革と次世代への思いが感じられる広報活動や実績をあげている自治体へ移動できる時代なので、例として明石市を参考に施策を充実して頂けると、今後結婚後の定住先、リモートワークの勤務地としてより有力な候補になると感じますし、帰りたいと思います。
- 全世代均等な支援。